

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2018・4月号

石川県学校生活協黒字化3か年計画の最終年

2018年度は、黒字へジャンプの年！

—全員利用運動再検討、利用への要望・意見の活性化—



石川県学校生活協にとって、今年度（2018年度）は黒字化3か年計画の3年目です。ホップ、ステップと歩み、今年度はジャンプの年です。ここ数年、総代会で赤字予算を提案せざるをえない経営状態でした。しかし、今年度は久しぶりに黒字予算を提案する予定です。実際は、少し無理をしています。それでも努力をすれば達成できる範囲と考えています。その努力を組合員の皆さんとともに頑張りたいと思います。

実際、昨年度の学校生活協の年間赤字額は、およそ1,763万円でした。この赤字額を明治安田生命津幡営業所のなないろプラザの入館、屋上に太陽光発電設置による売電、全員利用運動の再検討、退職職員の不補充等で、何とか黒字に出来るのではないかと計画しています。

そこで、皆さんに大きく2つのご協力をお願いします。一つは、先にも述べましたが、**全員利用運動に御協力**をお願いします。もう一つは、「学校生活協でも、こんなものを扱ってください」と言った**要望・意見を出してください**。苦しい時のみなさん頼みなのですが、また一方では楽しい活動も増やすことも計画しています。例えば、ボウリング大会だけでなく、産地見学会、講演会、指定店巡りなどです。その時には、お互いの気分転換としてどしどしご参加ください。

2017年度末 1,763万円の赤字です、計画目標より883万円悪化です。

石川県学校生活協の2017年度の経常損失金は▲1,763万円です。計画は▲880万円ですから▲883万円悪化しています。悪化の要因は、全員利用運動を年4回計画し、その剰余を見込んでいたのですが、不完全実施に終わったこと、供給（売上）が計画したほど伸びなかったこと、1・2月の大雪による供給の減少が大きなものです。

みなさん！何かを買いたいと思った時には、まず、学校生活協で買えないかを思い浮かべてください。十分間に合うものがあります。もし、なければ要求してください。みなさんの学校生活協です。使いやすい学校生活協にしましょう。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

《学校生活協と私》 事業部長 野口秀雄

私が学校生活協に入協し、最初に配属されたのはフレッシュ共同購入課でした。新しく立ち上げた時で、オルグ活動をしてこれから学校の班を増やしていく事が主な業務でした。班の説明会は興味のある先生方何人かで集まって聞いていたのですが、一番盛り上がるのが班の名前を決めてもらうときです。今でも忘れられない班名は「バタリアン」笑。どこの学校かは想像にお任せします。電話がなるたびに特徴あるいろんな班名が生協事務所で飛び交い、職員から一体何の話をしてるんや？と不思議な顔をされたものです。

今では県下全域の学校と個人宅配をフォローしているフレッシュ共同購入ですが、学校の現場の多忙化や退職者の増加で登録人数は年々個人宅配が増え学校班が減少しています。

学校生活協の活動において学校訪問の規制や先生方の多忙化は、本当に難関ですが、私たちが学校生活協は以前のように職員室で先生方もいつも笑顔になれる商品や企画をこれからも手がけていきたいと考えています。



編集後記 五種類の野菜たち

なないろプラザのエントランスに5つのプランターがあります。現在（4月6日）、スナック豌豆、キュウリ苗、レタス、スティックブロッコリー、イチゴが植えられています。スナック豌豆とキュウリは、植えたばかりで、実を着けるまでは1か月以上はかかります。スティックブロッコリーは、まだ脇茎が出て食べられているので、しばらくはこのままです。レタスはもう収穫が終わり、次は茎刺しジャガイモかスイカを植えようとおもっています。イチゴは、ようやく花が咲きもうじき大きな赤い実がなるのを楽しみにしています。と言う具合に時期がまちまちの野菜たちが、マイペースで育っています。なないろプラザに来られた時に覗いて見てください。（ほその）